

新宿区次世代育成支援に関する調査

～ 調査へのご協力のお願い ～

日頃より新宿区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

新宿区では、「子育てしやすいまち」の実現を目指し、平成21年度に策定した「新宿区次世代育成支援計画（平成22年度～26年度）」に基づき、様々な子育て支援策を実施しています。また、平成26年度には、新たな「次世代育成支援計画（平成27年度～31年度）」を策定する予定です。

この調査は、計画の策定にあたり、区民の皆様の子育てに関する状況やご意見・ご要望等を把握するために実施するものです。

調査票については、住民基本台帳の中から小学生のお子さんを選ばせていただき、その保護者の方に送付しています。お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

お忙しいなか、質問数が多く恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年7月

新宿区長 中山 弘子

～ ご記入にあたってのお願い ～

- 1 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
- 2 アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 3 回答は、選択肢の番号を選んで〇印をつけていただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 4 ご回答の〇印の数は、(〇はひとつだけ)、(〇はいくつでも)などと表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 5 数字で時間(時刻)を記入していただく場合は、24時間制(例：午後6時は18時)で記入してください。
- 6 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問に進んでください。
- 7 アンケート調査前に、同封のリーフレットをご覧くださいとともに、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。
- 8 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて**8月23日(金)**までにご投函ください。(切手を貼らずにお出してください。住所・氏名を記入する必要はありません。)

【お問い合わせ先】

新宿区 子ども家庭部 子ども家庭課 企画係 TEL 03-5273-4260

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

小学（ ）年生

問2 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数（ ）人 末子の生年月 平成（ ）年（ ）月生まれ

問3 宛名のお子さんのお住まいは、どの特別出張所の地域ですか。（○はひとつだけ）

※お住まいの地域は宛名ラベルに記載されています。

- | | | | | |
|-------|---------|---------|--------|--------------|
| 1. 四谷 | 2. 箕筒町 | 3. 榎町 | 4. 若松町 | 5. 大久保 |
| 6. 戸塚 | 7. 落合第一 | 8. 落合第二 | 9. 柏木 | 10. 角筈・区役所管内 |

問4 あなたは、現在のお住まいに住んで何年になりますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 5. 10年以上20年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 3. 3年以上5年未満 | 7. 30年以上 |
| 4. 5年以上10年未満 | |

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（○はひとつだけ）

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問6 宛名のお子さんのご両親の状況についてうかがいます。それぞれの欄について、あてはまるものにつづつ○印をつけてください。（それぞれの欄に○は1つだけ）

	母 親	父 親
宛名のお子さんとの同別居状況	1. 一緒に住んでいる 2. 単身赴任や入院などで別に住んでいる 3. 別居している 4. 死亡、離婚、未婚などでいない	1. 一緒に住んでいる 2. 単身赴任や入院などで別に住んでいる 3. 別居している 4. 死亡、離婚、未婚などでいない

問7 宛名のお子さんの身の回りの世話などを主に行っているのはどなたですか。なお、続柄はすべてお子さんからみた関係です。（○はひとつだけ）

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|--------------------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） |
|----------|---------|---------|----------|--------------------------------|

問8 あなたの世帯の一年間の収入の合計額（税込み）は、どれくらいですか。土地・家屋・株券などの資産売却による収入は除きます。（○はひとつだけ）

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 200万円未満 | 5. 700万円～1,000万円未満 |
| 2. 200万円～300万円未満 | 6. 1,000万円～1,500万円未満 |
| 3. 300万円～500万円未満 | 7. 1,500万円以上 |
| 4. 500万円～700万円未満 | 8. わからない |

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（〇はいくつでも）

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	⇒問9-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	⇒問9-2へ
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒問10へ

問9-1 問9で「1.」または「2.」に〇をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（〇はいくつでも） ←

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

⇒問10へ

問9-2 問9で「3.」または「4.」に〇をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（〇はいくつでも） ←

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

すべての方にうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】（〇はひとつだけ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	⇒(1)-1、 (1)-2へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒(2)へ
6. これまで就労したことがない	

(1)-1 ※(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(1)-2 ※(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間 () 時 () 分 帰宅時間 () 時 () 分 ※24時間制でお答えください

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 (○はひとつだけ)

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等(「フルタイム以外」の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である | ⇒(2)-1、
(2)-2へ |
| <ol style="list-style-type: none"> 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない | ⇒問12へ |

(2)-1 ※(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週あたり () 日 1日あたり () 時間

(2)-2 ※(2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。自営業や在宅勤務の場合は、仕事を開始する時間と終了する時間についてお答えください。

家を出る時間 () 時 () 分 帰宅時間 () 時 () 分 ※24時間制でお答えください

問11 問10の(1)または(2)で、「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問12もしくは問13へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれの欄に○はひとつだけ)

(1)母親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい
(2)父親	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労)をやめて子育てや家事に専念したい

問12 問10の(1)または(2)で、「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。

就労したいという希望はありますか。(それぞれの欄に○はひとつだけ)

また、希望する就労形態(それぞれの欄に○はひとつだけ)と1週あたり日数、1日あたりの時間数をご記入ください。

(1)母親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パート、アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) ⇒1週あたり()日 1日あたり()時間
(2)父親	1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい ⇒希望する就労形態 ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パート、アルバイト等(「ア.フルタイム」以外) ⇒1週あたり()日 1日あたり()時間



育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

すべての方にうかがいます。

問13 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

(1) 母親

育児休業を取得しましたか。

(○はひとつだけ)

1. 働いていなかった
2. 取得した
3. 取得していない

→ 取得していない理由 (○はいくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するために退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

(2) 父親

育児休業を取得しましたか。

(○はひとつだけ)

1. 働いていなかった
2. 取得した
3. 取得していない

→ 取得していない理由 (○はいくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった
4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
6. 保育所(園)などに預けることができた
7. 配偶者が育児休業制度を利用した
8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するために退職した
10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
12. 育児休業を取得できることを知らなかった
13. その他()

問13-1 「子どもが原則1歳（※1）になるまで育児休業給付が支給される仕組み」や「子どもが満3歳になるまでの育児休業等（※2）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み」がありますが、そのことをご存じでしたか。（○はひとつだけ）

※1 保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月

※2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|

問13で、母親又は父親が、「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。なお、母親又は父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。

問13-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（○はひとつだけ）

- | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
復帰後の状況 ⇒ | ⇒次のア、イ、ウ、エのいずれかを回答後、問13-3へ
ア. 元の職場にフルタイムで復帰した
(短時間勤務制度による復帰も含む)
イ. 元の職場にパート・アルバイトで復帰した
ウ. 違う職場で、フルタイムで仕事を始めた
エ. 違う職場で、パート・アルバイトで仕事を始めた | ⇒問13-3へ |
| 2. 育児休業中に離職した | ⇒問14へ | |

問13-3 問13-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか？あるいはそれ以外でしたか。（○はひとつだけ）

※ 年度初めでの認可保育所等への入所を希望して、育児休業を切り上げて1月～2月頃復帰し、一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を予定して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった | 2. それ以外だった |
|-------------------------|------------|

問13-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

実際：（ ）歳（ ）か月

希望：（ ）歳（ ）か月

問13-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

（ ）歳（ ）か月

問13-6 問13-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 5. 経済的な理由で早く復帰する必要があった |
| 2. 配偶者や家族の希望があったため | 6. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 3. 4月に入園するため | 7. その他() |
| 4. 0歳児で入園しないと入園が難しいと思った | |

(2)「希望」より遅く復帰した方(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 4. 職場からの要請や仕事の都合で復帰する時期を調整したため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 6. その他() |

問13-7 育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用しましたか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった ⇒問13-8へ |
|-----------------|----------------------------|

問13-8 問13-7で「2.短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. 職場に短時間勤務制度が取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) |
| 9. 短時間勤務制度が利用できることを知らなかった |
| 10. その他() |

宛名のお子さんの放課後の過ごし方の希望等についてうかがいます

【放課後の子どもの居場所】

※「**児童館**」は、0歳～18歳未満までの子どもとその保護者が利用できる施設です。児童館・児童コーナーは20か所あり、遊戯室・音楽室・図書室などで自由に遊んだり、講座や行事に参加できます。(利用時間は最大9時から18時までです。)

※「**放課後子どもひろば**」は、子どもたちが自由に集い自主的に活動する「自由な遊びと学びの場」です。平成23年度からすべての区立小学校(29校)で実施しています。(利用時間は最大10時から18時までです。一部のひろばでは19時まで利用時間を延長しています。また、利用料(保険料)として年間200円がかかります。)

※「**学童クラブ**」は、小学校1～3年生(心身に障害を持つお子さんで集団生活が可能なお子さんは6年生まで)で、保護者が就労等により昼間家庭にいないお子さんを預かり、放課後の遊びや生活指導を行うところです。区の学童クラブは26か所あります。(利用時間は最大8時から19時までで、原則として月額6,000円の利用料がかかります。)また、このほかに民間の学童クラブ(利用料は事業者ごとに異なります)があります。

すべての方にうかがいます。

問14 小学生の放課後の居場所はどこにあると利用しやすいと思いますか。(○はひとつだけ)

1. 通学している小学校内	4. 親が通勤・買い物などに利用する最寄り駅の近く
2. 通学している小学校の近く	5. その他()
3. 小学校から自宅までの通学路の間	6. わからない

問15 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか(思いましたか)。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。(○はいくつでも)
また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週()日くらい
4. 児童館	週()日くらい
5. 放課後子どもひろば	週()日くらい ⇒下校時から()時まで ※24時間制でお答えください
6. 学童クラブ	週()日くらい ⇒下校時から()時まで ※24時間制でお答えください
7. その他(公園など)	週()日くらい

問16 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のときは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号に○をつけ、それぞれ週あたり日数を数字でご記入ください。（○はいくつでも）
また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館	週（ ）日くらい
5. 放課後子どもひろば	週（ ）日くらい ⇒下校時から（ ）時まで ※24時間制でお答えください
6. 学童クラブ	週（ ）日くらい ⇒下校時から（ ）時まで ※24時間制でお答えください
7. その他（公園など）	週（ ）日くらい

問17 問15または問16で、「6.学童クラブ」に○をつけた方にかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。また、利用したい回数について数字をご記入してください。

(1)土曜日（○はひとつだけ）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい回数 月（ ）回程度
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい	⇒ 利用したい回数 月（ ）回程度
3. 利用する必要はない	

(2)日曜・祝日（○はひとつだけ）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい回数 月（ ）回程度
2. 高学年（4～6年生）まで利用したい	⇒ 利用したい回数 月（ ）回程度
3. 利用する必要はない	

問18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号に○をつけてください。（○はひとつだけ）
また、利用したい日数について数字をご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒ 利用したい日数（週 日）
2. 4年生まで利用したい	⇒ 利用したい日数（週 日）
3. 5年生まで利用したい	⇒ 利用したい日数（週 日）
4. 6年生まで利用したい	⇒ 利用したい日数（週 日）
5. 利用する必要はない	

問19 問15または問16で、「6.学童クラブ」に○をつけた方うかがいます。放課後子どもひろばの利用時間が学童クラブと同等に拡大された場合、利用の希望はありますか。（○はひとつだけ）

1. 低学年の間も利用したい
2. 高学年になったら利用したい
3. 利用の希望はない

児童館・児童コーナーについてうかがいます

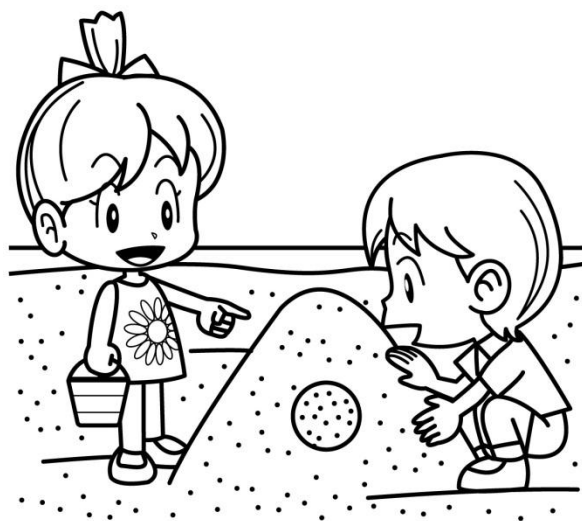
すべての方うかがいます。

問20 新宿区内には、子ども総合センターが1館、子ども家庭支援センターが3館、児童館が16館の合計20館の施設があります。これらの施設に対して、あなたはどのように感じていますか。

（○は3つまで）

※子ども総合センター、子ども家庭支援センターには「児童コーナー」があり、児童館と同じように、幼児から中高生までの子どもが遊ぶことができます。

1. 利用時間を見直して欲しい（具体的に： _____）
2. 施設・設備を改善して欲しい
3. 事業の内容を工夫して欲しい
4. 乳幼児親子のつどいの場の拡大や、子育てサークルへの支援を充実して欲しい
5. 中高生を対象とした取り組みを充実して欲しい
6. 施設内だけの事業ではなく、施設を拠点とした地域活動を強化して欲しい
7. その他（ _____）
8. 現在のままでよい
9. そういった施設を知らない



宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりの利用についてうかがいます

すべての方にうかがいます。

問21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号に○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。（○はいくつでも）
必要がなかった場合は、「2. なかった」に○をつけてください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	() 泊
	イ. 子どもショートステイを利用した	() 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	() 泊
	エ. やむを得ず子どもを同行させた	() 泊
	オ. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他 ()	() 泊
2. なかった		

⇒問21-1へ

問21-1 問21で「1.あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。（○はひとつだけ）

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない



地域での子育て支援についてうかがいます

すべての方にうかがいます。

問22 あなたは、子育てが楽しいですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. とても楽しい | 3. あまり楽しくない |
| 2. まあまあ楽しい | 4. まったく楽しくない |

問23 あなたは、子育てがつらいと思うことがありますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. いつも思う | 3. あまり思わない |
| 2. ときどき思う | 4. まったく思わない |

問24 子育てに関して悩んでいることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------------------|
| 1. 子どもの発達について | 10. 子どもへの接し方がわからないこと |
| 2. 子どもの病気について | 11. 子育てに自信が持てないこと |
| 3. 子どもの食事や栄養について | 12. 子育てで配偶者と意見があわないこと |
| 4. 子どもの遊ばせ方や、しつけについて | 13. 仕事や自分のことが十分にできないこと |
| 5. 子育て仲間がいないこと | 14. 子育てについて、まわりからどのように思われているのか気になること |
| 6. 専門的な相談先がわからないこと | 15. 緊急時に子どもを見てくれる人がいないこと |
| 7. 保育情報や地域の子育て情報が得にくいこと | 16. その他() |
| 8. 子育てが精神的な負担になっていること | 17. 特に悩んでいることはない |
| 9. 子どもとの時間が十分にとれないこと | |

問25 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ある ⇒問25-1へ | 2. ない ⇒問26へ |
|---------------|-------------|

→問25-1 問25で「1.ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(○はいくつでも)

【公的機関】

1. 小学校、保育園、子ども園、幼稚園等
2. 子ども総合センター、子ども家庭支援センター
3. 児童館・学童クラブ
4. 保健センター
5. 教育センター
6. 民生・児童委員
7. 上記以外の公的な相談機関()

【民間等】

8. 配偶者(夫・妻)
9. 父母(子どもの祖父母)
10. その他の親族
11. 友人・知人
12. 子育て仲間
13. 塾・習い事の先生
14. かかりつけの医師
15. 民間の相談機関
16. 育児書や育児雑誌
17. インターネットの子育て関連サイト
18. その他()

19. 誰にも相談しない

問26 子育てに関する情報で役立った情報はどこからの情報ですか。(○はいくつでも)

【公的機関】	【民間等】
1. 新宿区公式ホームページ 2. 新宿区くらしのガイド 3. 広報しんじゅく 4. 区立図書館 5. 地域ポータルサイト「しんじゅくノート」 6. 新宿はっぴー子育てガイド (新宿区が作成している子育て情報誌) 7. 区立施設などに置いてあるチラシ・パンフレット 8. 区立施設や町会・自治会などの掲示板の情報 9. 区や都などの公的な相談機関 10. 公的機関の医療・健康の専門職(医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士など)	11. 親や子育て経験のある人 12. 同年代の子どもを持つ子育て仲間との会話 13. ブログ・ツイッターなどインターネットを通じた子育て仲間との情報交換 14. 民間の子育て情報ホームページ 15. 新聞 16. テレビなどの育児情報番組 17. 育児書や育児雑誌 18. 民間の相談機関 19. 民間機関の医療・健康の専門職(医師、保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士など) 20. その他()
21. 特に情報を得たことはない	

問27 安心して子育てをするために、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 子育て中の親が集まり、話したり遊んだりできる場や仕組みを増やす 2. 子育てサークルや子育て支援ボランティアなどの自主的な活動がしやすい仕組みを増やす 3. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす 4. 地域での子どもの自主的な活動を育成・支援するために、行政や地域の団体などが連携する 5. 行政や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全を守るための活動をする 6. その他() 7. 特に必要ない

安全、防犯対策についてうかがいます

すべての方にうかがいます。

問28 あなたは、携帯電話やスマートフォン、インターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取り組みとして何が必要だとお考えですか。(○は3つまで)

1. 携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知 2. フィルタリング付加の徹底 3. 情報モラル教育講座など啓発講習会の開催 4. 携帯電話、スマートフォン、インターネットによる被害についての身近な相談機関 5. その他() 6. 特に何も必要ない

新宿区の子育て環境についてうかがいます

すべての方にうかがいます。

新宿区では、「子育てコミュニティタウン新宿」を目指して、これまで、様々な子育て支援施策を充実させてきました。取り組み状況等を紹介したリーフレットを同封しましたので、ご覧のうえご回答ください。

問29 新宿区は、子育てしやすいまちだと思いますか。（○はひとつだけ）

- | | | | |
|--------------------|---------|--------------|-------|
| 1. 子育てしやすいまちだと思う | ⇒問29-1へ | 3. どちらともいえない | ⇒問30へ |
| 2. 子育てしやすいまちだと思わない | ⇒問29-2へ | 4. その他（ ） | ⇒問30へ |

→問29-1 問29で「1.」と答えた方にうかがいます。「子育てしやすいまちだと思う」理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 住環境が良い | 8. 近所づきあいや地域活動が盛んである |
| 2. 自然環境が良い | 9. 地域の子育てネットワークができています |
| 3. 交通機関が便利である | 10. 親同士の交流の場がある |
| 4. 保育サービスが充実している | 11. 子育てに関する情報を得やすい |
| 5. 小学校、保育園、子ども園、幼稚園などが利用しやすい | 12. 子育てに関する相談機能が充実している |
| 6. 職場と住居が近い | 13. 事故や犯罪が少ない |
| 7. 公園や児童館など子どもの遊び場が多い | 14. その他（ ） |

⇒問30へ

→問29-2 問29で「2.」と答えた方にうかがいます。「子育てしやすいまちだと思わない」理由は何ですか。（○は3つまで）

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 住環境が良くない | 8. 近所づきあいや地域活動が盛んではない |
| 2. 自然環境が良くない | 9. 地域の子育てネットワークができていない |
| 3. 交通機関が不便である | 10. 親同士の交流の場が少ない |
| 4. 保育サービスが充実していない | 11. 子育てに関する情報を得にくい |
| 5. 小学校、保育園、子ども園、幼稚園などが利用しづらい | 12. 子育てに関する相談機能が充実していない |
| 6. 職場と住居が遠い | 13. 事故や犯罪が多く危険を感じる |
| 7. 公園や児童館など子どもの遊び場が少ない | 14. その他（ ） |

問30 今後も、新宿区で子育てをしていきたいと思いませんか。（○はひとつだけ）

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. ずっと新宿区で子育てをしていきたい | |
| 2. 当分の間は新宿区で子育てをしていきたい | ⇒問30-1へ |
| 3. できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい | |
| 4. 近いうちに転出するつもりである | |
| 5. その他（ ） | |

問30-1 問30で「2.」と答えた方にうかがいます。「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」と思う理由は何ですか。（〇はひとつだけ）

1. 保育園、子ども園、幼稚園など就学前のサービスが特に充実しているが、就学後の子どもの居場所に不安があるから
2. 子育ての利便性は高いが、家賃や地価が高く新宿区内で広い住居は望めないなので、子どもが大きくなったら転出すると思うから
3. 子育て支援・教育は充実しているが、子どもの年齢が大きくなると地域の安全面での心配が大きくなるから
4. その他（)

子育て支援全般についてうかがいます

問31 子どもを育てやすい社会に必要なと考えられることは何ですか。（〇は3つまで）

1. 子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の整備
2. 児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助
3. 子育てをしやすい職場づくりのための支援（職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮等）
4. 男性も女性も家事・育児に参加する男女共同参画の意識づくり
5. 保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など）
6. 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくりの充実（学童クラブ、児童館、放課後子どもひろば）
7. 公園や遊び場の充実
8. 子どもを遊ばせながら子育て仲間を作ったり、気軽に相談できる場の充実
9. 子どもが相談できる相談窓口の整備
10. 学校教育の充実
11. 小児科・小児歯科などの医療機関情報の提供
12. 不妊治療や産科の医療機関情報の提供
13. 妊婦健診の充実
14. その他（)
15. 特にない

問32 新宿区の子育て支援施策に関するご意見や、その他のご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

調査票を同封の返信用封筒に入れて、8月23日（金曜日）までに郵送（投函）してください。切手を貼る必要はありません。

また、個人情報保護の観点から、調査票や封筒にあなたのお名前やご住所等をお書きにならないでください。